サーボドライブシステム

取扱説明書

取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
■取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～3
・各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
・ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
・ご使用に際して ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6
・お手入れ方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～7
・故障かな？と思う前に ・・・・・・・・・・・・・ 7～8
・仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
・ご相談窓口における
　お客様の個人情報のお取扱いについて／
　アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・ 9

取付・設置説明書

・安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・ 10～11
・取付・設置前の確認 ・・・・・・・・・・・・ 11～12
【フロアユニット、収納ユニットの場合】
・サーボドライブ電気部品取付方法 ・・・・・ 13～18
・配線方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19～21
・プロファイルケーブルの通し方 ・・・・・・・・・ 22
・横型アルミプロファイルの取り外し、取付け ・・・ 23
・ドライブユニットの機能 ・・・・・・・・・・・・ 24
・配線図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25～29
【ウイングチップの場合】
・サーボドライブ電気部品取付方法 ・・・・・・・・ 30
・サーボドライブのスタートアップ ・・・・・ 31～32
・サーボドライブスイッチの電池交換のしかた ・・・ 33
・配線図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34～35
・取付・設置後の点検・試運転・清掃 ・・・・・・・ 36

TOYO KITCHEN STYLE

取扱説明書

安全上のご注意　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度**」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「**取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度**」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。
	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

⚠ 警告

分解・修理・改造は絶対にしないでください。

分解・修理・改造禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

サーボドライブに異物を入れないでください。

金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異常時（煙が出たり、異臭がするなど）には、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店・電気工事店にご連絡ください。

サーボドライブ内部に水や異物が入ったら、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店・電気工事店に点検をご依頼ください。

交流１００Ｖ以外では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショートや感電の恐れがあります。

コンセントは単独で使用してください。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。テーブルタップや延長コードは、過熱の恐れがありますので使用しないでください。

⚠ 注意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。

雷時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する恐れがあります。

地震の際は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

意図せずにサーボドライブが作動して引出しや扉が開き、ケガの原因となります。

子供だけで使わせないでください。

引出しや扉が開くときに、倒れたり、ケガをする恐れがあります。

サーボドライブスイッチの電池交換の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

扉が開いて、ケガをする恐れがあります。

雷時は、サーボドライブ・ノードコネクターなどに触らないでください。

感電の原因となります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

万一故障したとき、火災の原因になることがあります。

扉の開閉中はアーム周辺に手を触れないでください。

ケガをする恐れがあります。

押出しレバーを手で押さないでください。

ケガや故障の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店・電気工事店に交換をご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損して、感電・火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないでください。

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って引き抜いてください。

ご使用にならないときや子供がキッチンにいるときは、電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

意図せずにサーボドライブが作動して引出しや扉が開き、ケガの原因となります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。

発熱によって火災の原因となります。

電源プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。

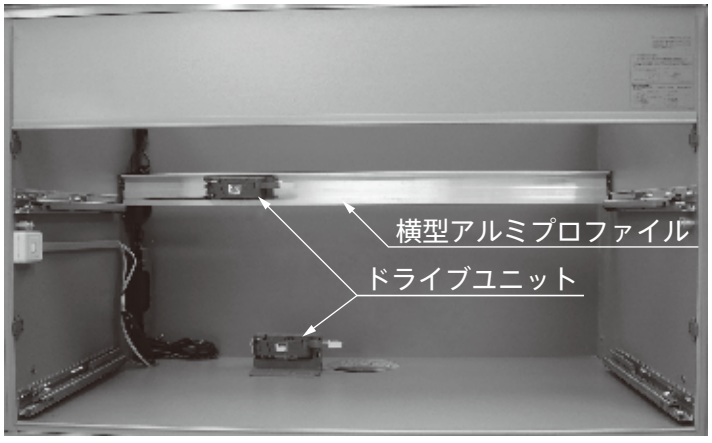
火災の原因となります。

各部の名称

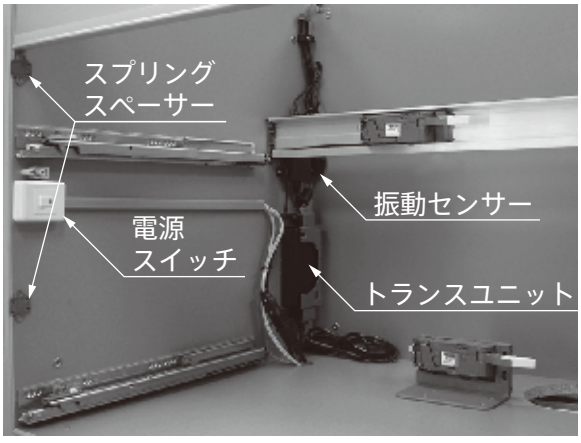
■フロアユニット、収納ユニット

サーボドライブは引出しを開けるサポートをします。
トランスユニットはドライブユニットに電気を供給します。
ドライブユニットの運転表示ランプ（ＬＥＤ）が点灯しているかどうかで作動を確認できます。

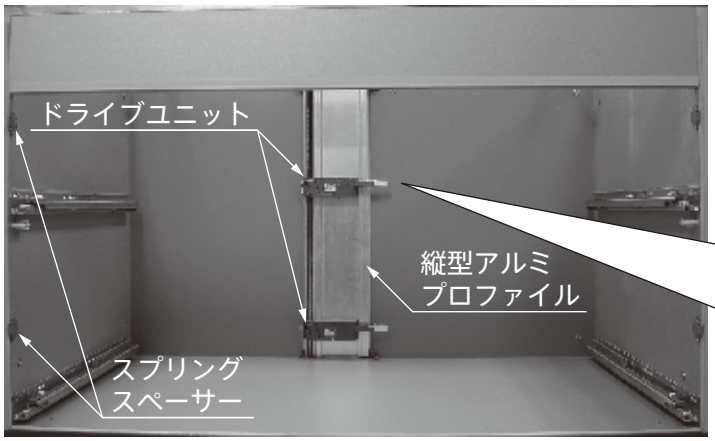
シンクユニット正面



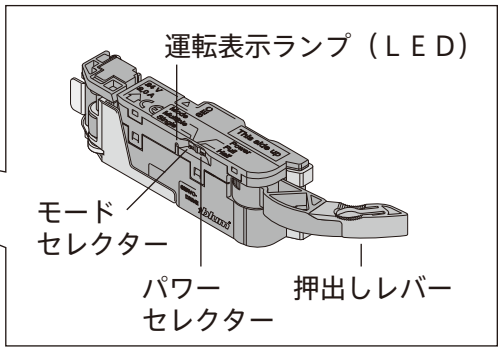
シンクユニット左側面



加熱機器ユニット正面



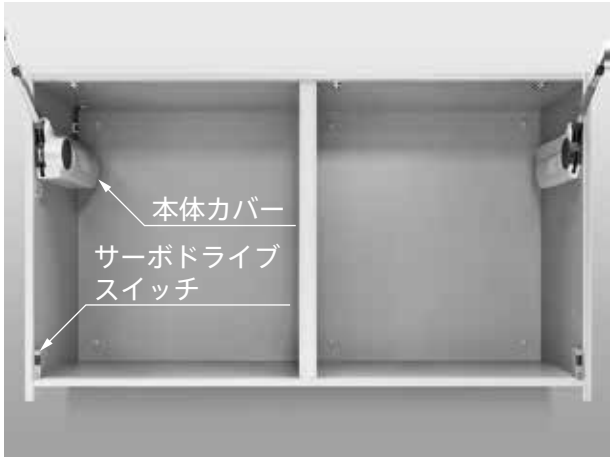
ドライブユニット



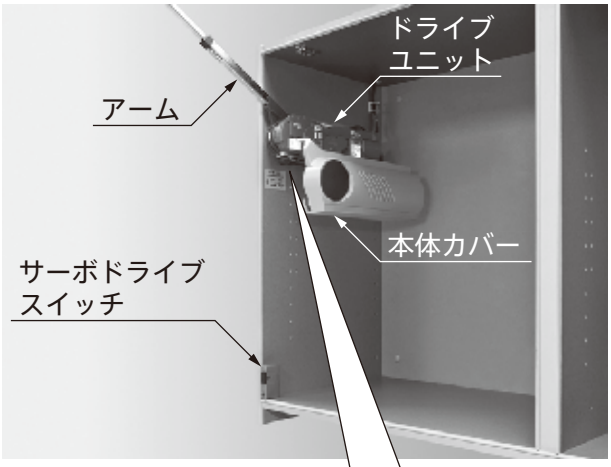
■ウイングチップ

サーボドライブは扉の開閉をサポートをします。
トランスユニットはドライブユニットに電気を供給します。

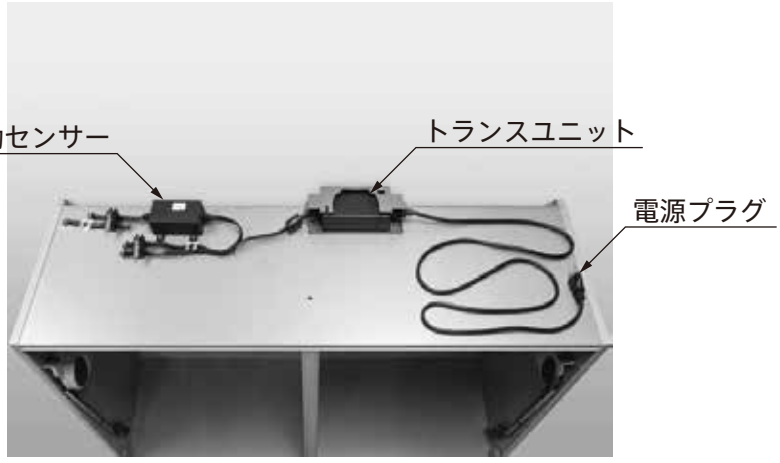
正面



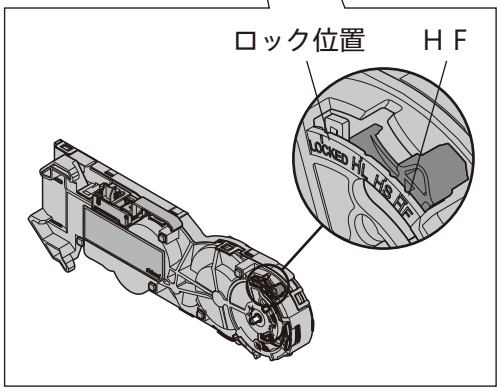
左側面



上面



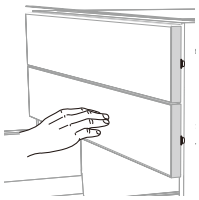
ドライブユニット

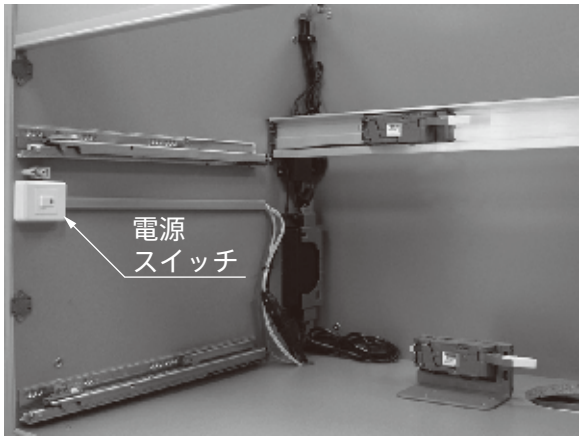


ご使用方法

■フロアユニット、収納ユニット

引出しを開けて、電源スイッチを入れます。
引出し前板を軽く押すか、軽く引くことにより、引出しが自動的に開きます。



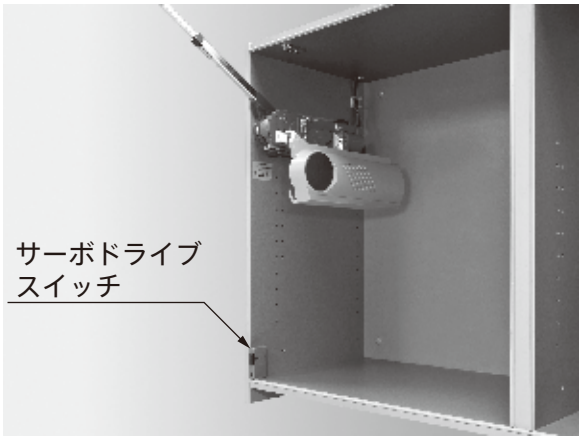


■ウイングチップ

扉を軽く押すだけで扉が自動的に開きます。
閉めるときはサーボドライブスイッチを押すだけで扉が自動的に閉まります。

扉はいつでも手動で開閉することができます。手動開閉によって、サーボドライブが損傷することはありません。

軽く押したり、引いたりすることにより、機能が働きますので、しばらくの間、寄りかかっている場合は開きません。



ご使用に際して

使用環境温度は０℃～５０℃の範囲です。

範囲外の場合、サーボドライブが作動しなかったり、部品が破損する原因となります。

引出しや扉を開くと子供がケガをする危険性があります。

サーボドライブが意図せずに作動するのを防ぐために、ご使用にならないときや子供がキッチンにいるときは、電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

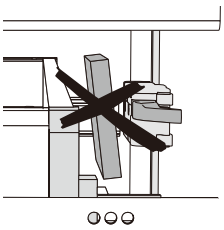
サーボドライブを作動させるときは、周囲に人がいないことやものが無いことを確認してください。

周りにいる人がケガをしたり、置いてあるものが破損する恐れがあります。
ウォールユニットの収納物を出し入れする際は、誤って引出しが開かないようにご注意ください。

引出しや扉を開閉する際に、途中で止めたり、強い力で押し返したりしないでください。

不適切な使用により、サーボドライブの寿命が低下することがあります。

引出し後部とドライブユニットまたはユニット背板の間に干渉するものがあると、作動しないことがあります。



扉とユニットの間、またはアームと扉の間に異物が挟まっていたり、ユニットの前端部からものがはみ出していると、扉が完全に閉まらないことがあります。

振動センサーは、地震が発生した場合、ドライブユニットへの電源供給を遮断し、サーボドライブの誤作動を防ぎます。
ただし、強度の地震の際は、引出しや扉が開くことがあります。

お手入れ方法

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。

お手入れの際は、扉を外さないでください。

ケガをする恐れがあります。

サーボドライブは固く絞った布で拭いてください。

電源プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。

火災の原因となります。

水や洗剤がドライブユニットやトランスユニットにかからないようにしてください。

液体がトランスユニットに入ると、感電の原因となることがあります。
水気や湿気は電子部品に損傷を与えることがあります。

トランスユニットをタオルやその他のもので覆ったりしないでください。

過熱や火災の原因となります。

押出しレバーを手で押さないでください。

ケガや故障の原因となります。

濡れた手でドライブユニットやトランスユニットに触らないでください。

ドライブユニットやノードコネクター、ケーブルエンドキャップなどは外さないでください。

長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
異常が無い場合でも、２～３年ご使用されましたら、安全のための点検をご依頼ください。

故障かな？と思う前に

故障と思う前に、次の内容をご確認ください。
それでも直らないときや原因がわからないときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■フロアユニット、収納ユニットの場合

症　状	原　因	解決方法
引出し前板を押しても引いても、全ての引出しのサーボドライブが作動しない	電源スイッチが切れている	電源スイッチを入れる
	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	停電	ブレーカーやヒューズボックスを確認する
	トランスユニットの不良	お買い上げの販売店に連絡してください
引出し前板を押しても引いても、特定のユニットのサーボドライブが作動しない	ケーブルの異常	お買い上げの販売店に連絡してください
引出し前板を押しても引いても、１台の引出しのサーボドライブが作動しない	引出しに収納しているものが高すぎてつかえている	引出しを手でゆっくり開けてください 詰まっているものを取り除いてください
	ドライブユニットの不良	お買い上げの販売店に連絡してください
サーボドライブが引出し前板を引いたときのみ作動し、押したときは作動しない	引出し前板とユニットの間に何かが詰まっている	詰まっているものを取り除いてください
	引出し後部とドライブユニットまたはユニット背板の間に何かが詰まっている	詰まっているものを取り除いてください
	スプリングスペーサーが付いていないか、不良がある	お買い上げの販売店に連絡してください

■ウイングチップの場合

症　状	原　因	解決方法
サーボドライブスイッチのＬＥＤが赤色に点滅する	サーボドライブスイッチの電池残量が少なくなっている	新しい電池に交換する
	電池のプラスとマイナスを間違えてセットしている	電池を正しくセットする
扉が完全に開かない 扉が完全に閉まらない	扉のバランスが崩れているか、ユニットに均等に接していない	お買い上げの販売店に連絡してください
扉を押してもサーボドライブスイッチを押しても、サーボドライブが作動しない	サーボドライブスイッチの電池残量が少なくなっている	新しい電池に交換する
	電池のプラスとマイナスを間違えてセットしている	電池を正しくセットする
	サーボドライブスイッチが故障している	お買い上げの販売店に連絡してください
	ドライブユニットが故障している	お買い上げの販売店に連絡してください
	配線が故障している	お買い上げの販売店に連絡してください
扉が完全に閉まらない	扉とユニットの間、またはアームと扉の間に異物が挟まっている	異物を取り除いてください
	ユニットの前端部からものがはみ出している	異物を取り除いてください

全てのサーボドライブが作動しない場合でも、手で開けることができます。
引出しの場合は、一番下段の引出しから順番に開けてください。

仕様

電源　　：　ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ

消費電力　　：　５０Ｗ

ドライブユニット　：　２４Ｖ

使用温度範囲　　：　０℃～５０℃

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名、住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1．弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2．弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。

3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

・ご氏名　・ご住所　・お電話番号　・お買い上げ日　・異常の内容　・品番

■製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において１年間です。

取付・設置説明書

安全上のご注意　必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」**をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」**をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。
	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

■取付・設置完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
■この「取扱説明書、取付・設置説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。
　紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

⚠ 警告

仕様変更・改造は絶対にしないでください。

分解・修理・改造禁止

火災・感電・ケガの原因となります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

振動のある場所には設置しないでください。

振動で意図せずにサーボドライブが作動し、ケガの原因となります。

水のかかる場所には設置しないでください。

火災・感電の原因となります。

ユニットはしっかりと固定してください。

振動で意図せずにサーボドライブが作動し、ケガの原因となります。

電源は専用のコンセントを設けてください。

他の器具と共用すると、過熱し、火災の原因となります。

ユニットは水平に設置してください。

ケガや故障の原因となります。

アース線は必ず取付けてください。

アース線を取付けないと漏電のときに感電することがあります。ガス管、電話線、避雷針、水栓、水道管には絶対にアース線を接続しないでください。

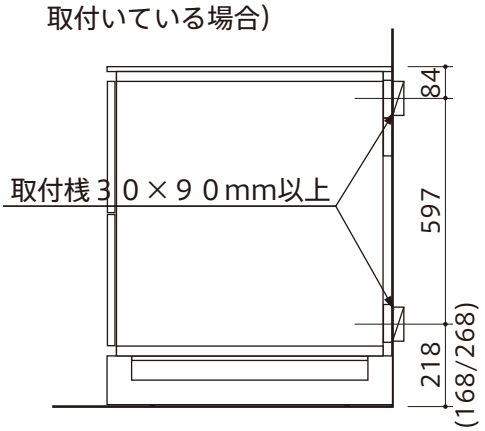
取付・設置前の確認

1　注文した製品が納入されているか、また納入された部品に損傷が無いか確認してください。
2　壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。
3　オンウォールタイプの場合、壁面の取付位置に取付桟があることを確認してください。
4　専用のコンセントが設置してあることを確認してください。
　　コンセント　：　１５Ａ　１２５Ｖ　アース付き

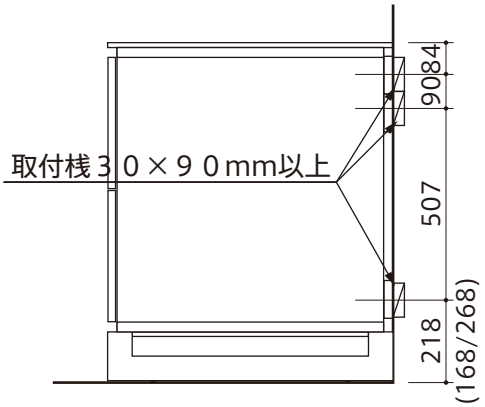
■取付桟位置（側面図）

※イラストはＡＦ仕様【H＝１５０】の場合を示し、（　）内寸法は、ＡＦ仕様【H＝１００／２００】の場合を示す。

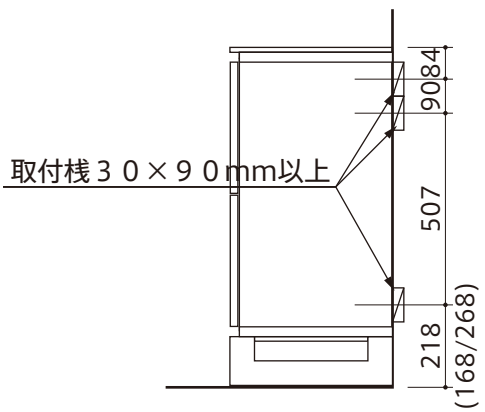
キッチンセットにシンクユニットが含まれる
引出し標準ユニットの場合
（※振動センサーがシンクユニット側板に
取付いている場合）



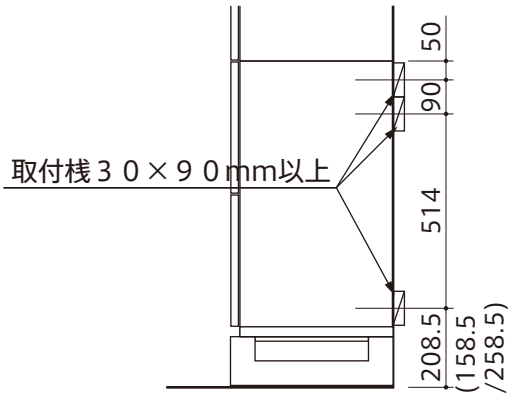
キッチンセットにシンクユニットが含まれない
引出し標準ユニットの場合
（※振動センサーを背板に取付ける場合）



薄型引出しユニットの場合



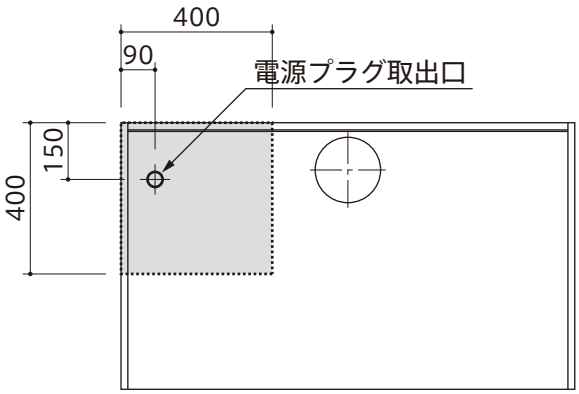
引出しユニット（トール収納）の場合



■一次配線取り出し位置

【シンクユニット】

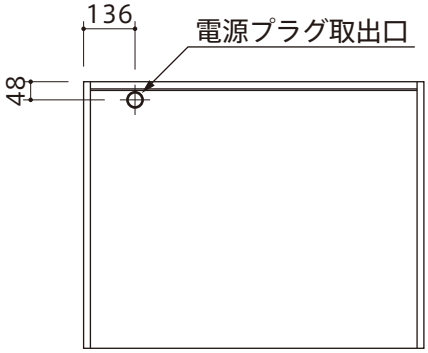
平面図



部分は、一次配線取り出し推奨位置です。
取り出せない場合は、電源プラグ取出口から
１．３m以内に取り出します。

【振動センサーを取付ける間口６００mm以上の
引出し標準ユニット、薄型引出しユニット、
引出しユニット（トール収納）】

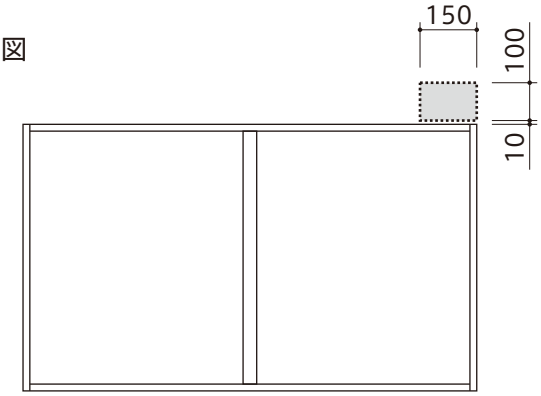
平面図



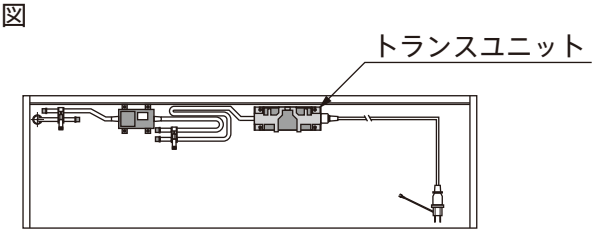
電源プラグ取出口から１．２m以内に取り出
します。

【ウイングチップ】

正面図



平面図



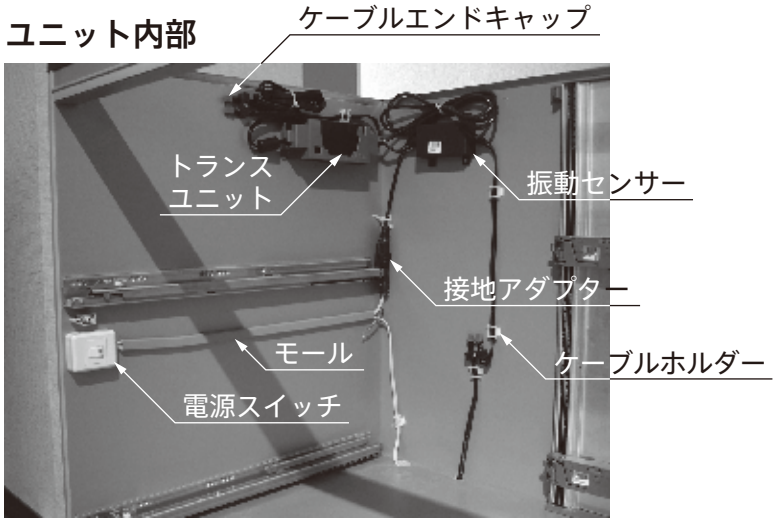
部分は、一次配線取り出し推奨位置です。
取り出せない場合は、トランスユニットから
１．５m以内に取り出します。

サーボドライブ電気部品取付方法　1（フロアユニット、収納ユニットの場合）

※　キッチンセットにシンクユニットが含まれない場合、間口６００mm以上のユニットにサーボドライブ電気部品を取付けます。

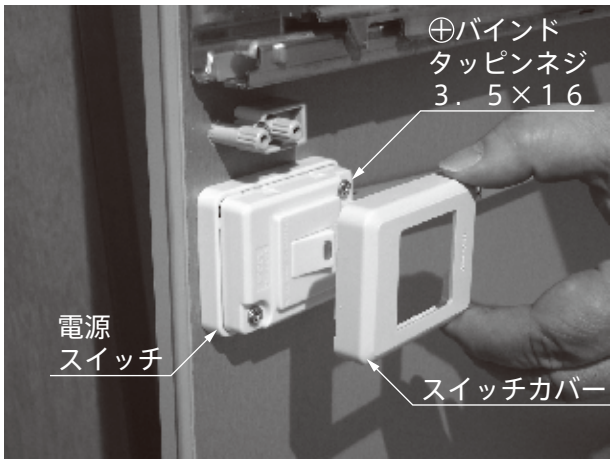
1　ユニット底板の指定位置に電源プラグ取出用穴φ４０（１ヶ所）、ケーブル取出用穴φ２０（１ヶ所）を開けます。
　引出しユニット（トール収納）の場合、底板スペーサーにも電源プラグ取出用穴φ４０と、ケーブル取出用穴φ２０を開けます。
※　電源コードおよびケーブルに傷がついたり、断線したりする恐れがありますので、穴開け部分は表裏とも面取りをしてください。
2　ユニット側板に電源スイッチを取付けます。
　⊕バインドタッピンネジ３．５×１６（２本）にてユニット側板の指定位置に電源スイッチを取付けます。
　電源コードをモール内におさめ、ユニット側板に貼り付けます。
3　ユニット側板にトランスユニットを取付けます。
　⊕サラタッピンネジ３．５×１６（４本）にてユニット側板の指定位置にトランスユニットハウジングを取付けます。
　１次側コードをトランスユニットにしっかり差し込みます。
　トランスユニットをトランスユニットハウジングに差し込みます。
4　ユニット背板に振動センサーを取付けます。
　ユニット背板背面に下地をあて、背板をはさみ込むようにして⊕バインドタッピンネジ３．５×１６（４本）にてユニット背板の指定位置に振動センサーを取付けます。
5　トランスユニットケーブルと振動センサーケーブルをノードコネクターにて接続します。
6　トランスユニットから出ている１次側コードに接地アダプターを取付け、電源コードと接続します。
7　付属のケーブル（６m）の長さを調整し、カットします。
　振動センサーケーブルとカットしたケーブルをノードコネクターにて接続します。
8　各ケーブル（トランスユニットケーブル、振動センサーケーブル）と電源コードをケーブルホルダーに通して、側板および背板に両面テープで固定します。
※　ケーブルにたるみが無いように固定してください。

ユニット内部

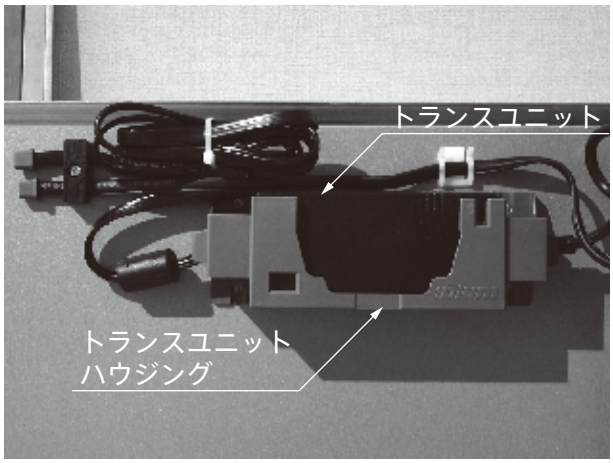


サーボドライブ電気部品取付方法　2（フロアユニット、収納ユニットの場合）

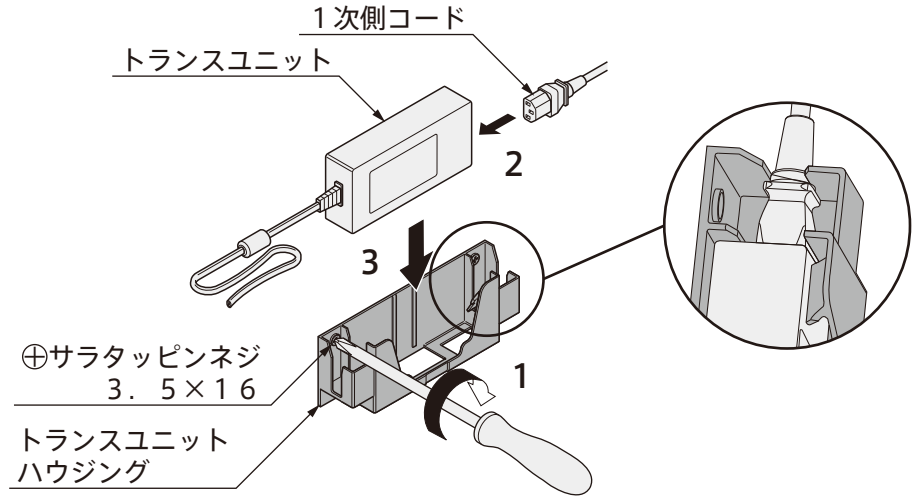
電源スイッチの取付け



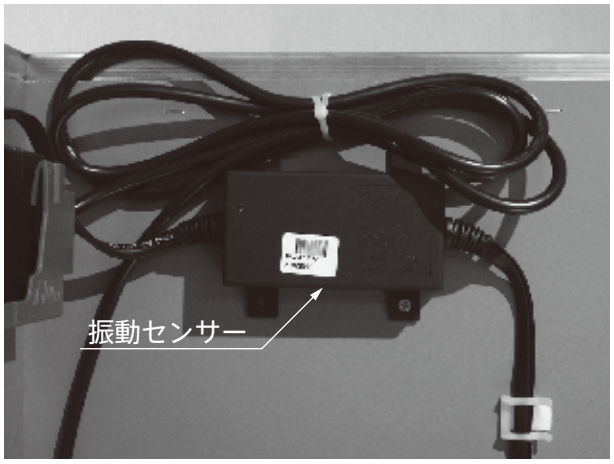
トランスユニットの取付け

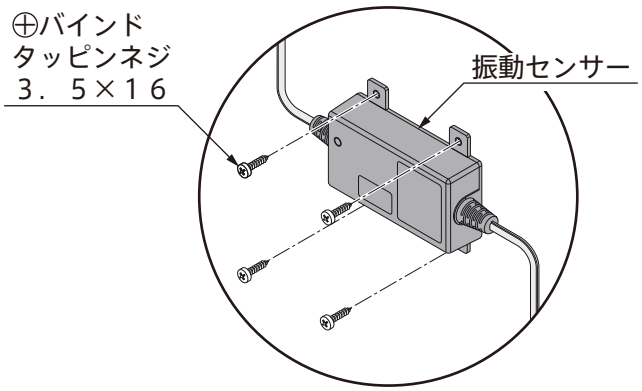


トランスユニットの取付手順



振動センサーの取付け



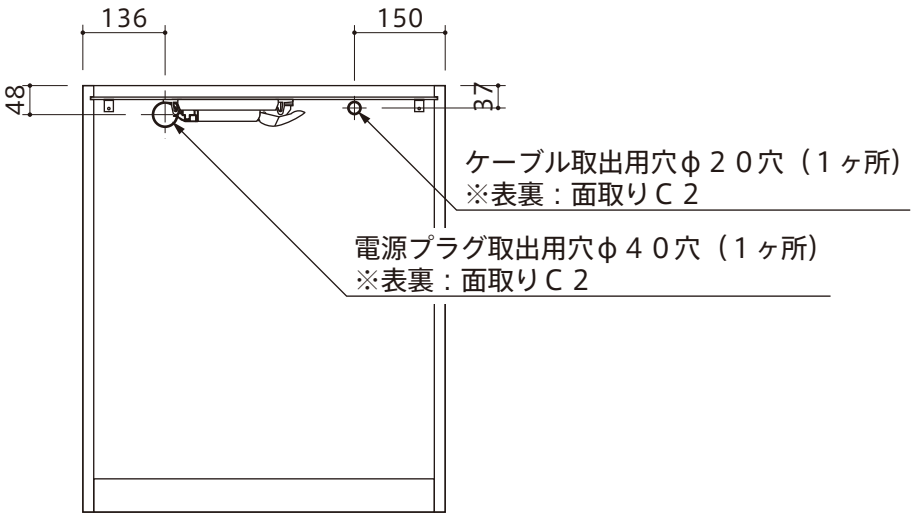


サーボドライブ電気部品取付方法　3（フロアユニット、収納ユニットの場合）

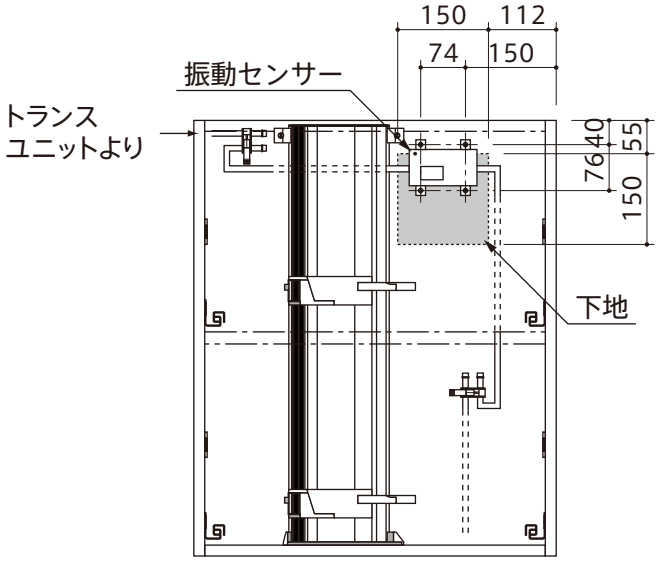
サーボドライブ電気部品取付位置、穴あけ位置

【間口６００mm引出し標準ユニット】
【間口６００mm薄型引出しユニット】

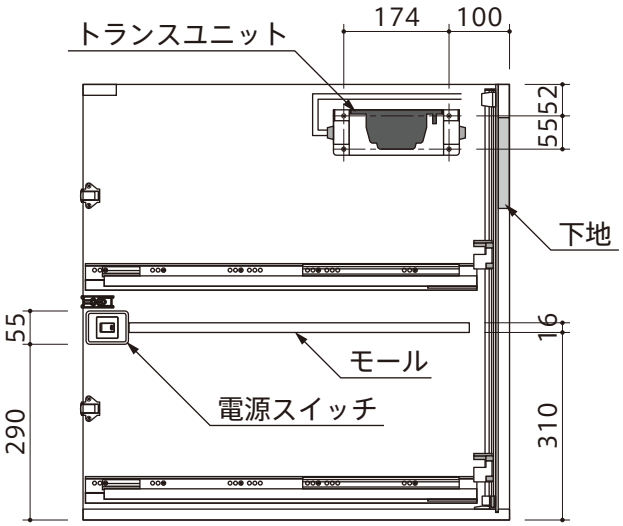
平面図



正面図



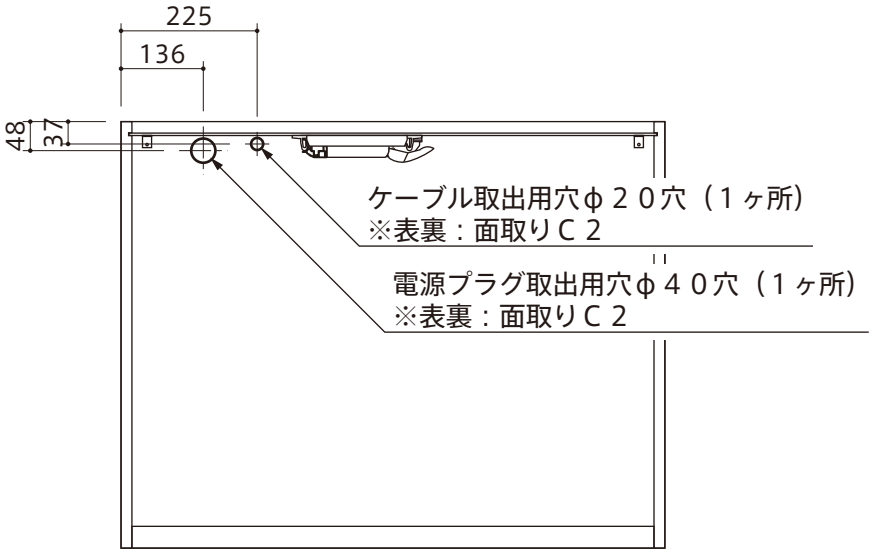
側面図



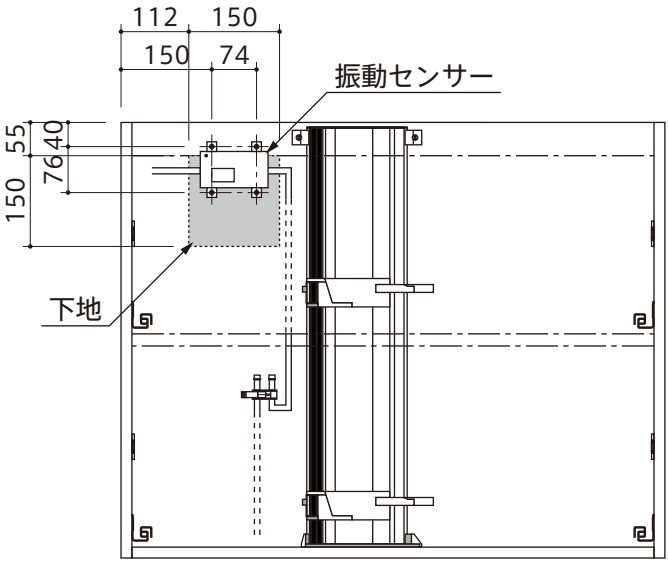
サーボドライブ電気部品取付方法　4（フロアユニット、収納ユニットの場合）

【間口７５０・９００・１２００mm引出し標準ユニット】
【間口７５０・９００・１２００mm薄型引出しユニット】

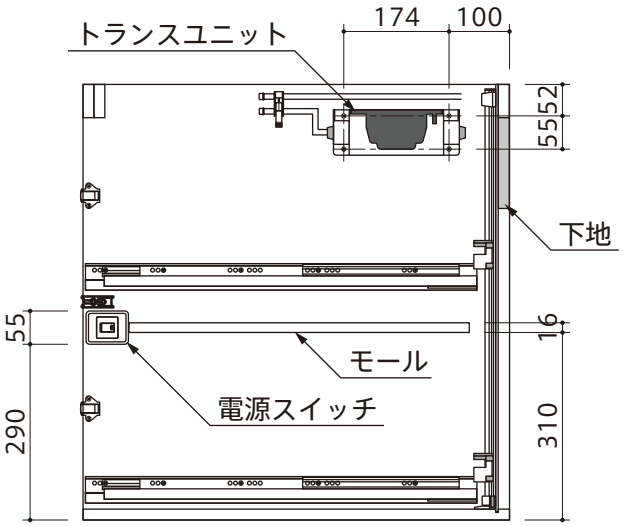
平面図



正面図



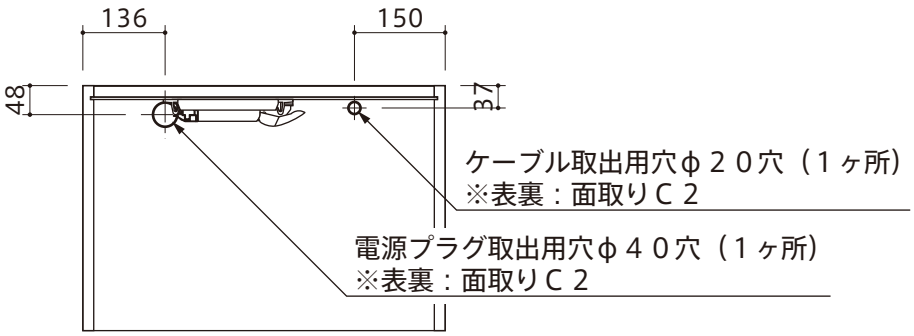
側面図



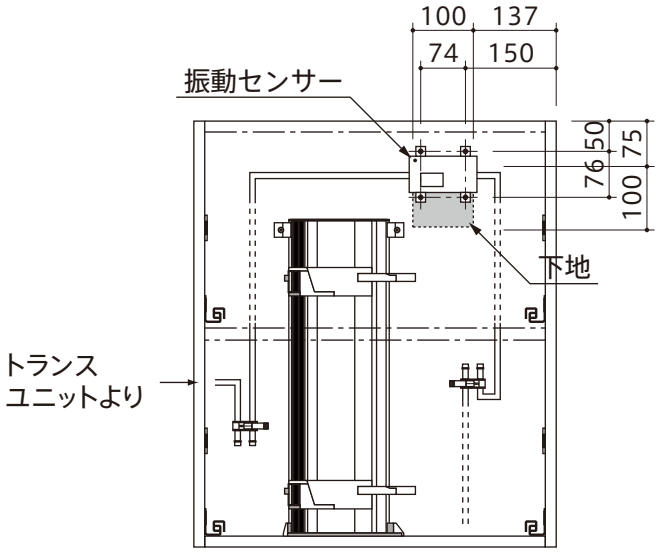
サーボドライブ電気部品取付方法　5（フロアユニット、収納ユニットの場合）

【間口６００mm引出しユニット（トール収納）】

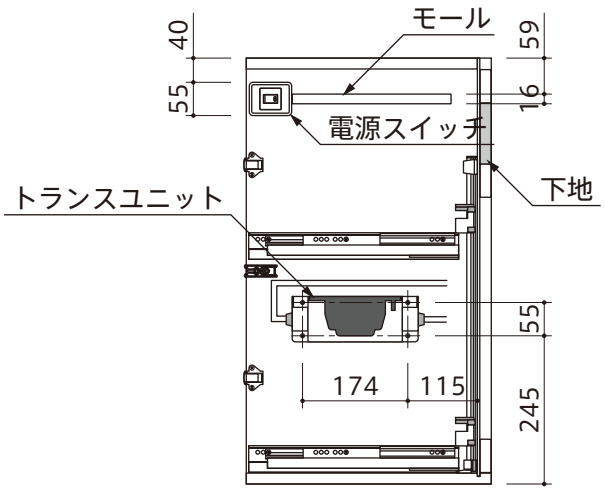
平面図



正面図



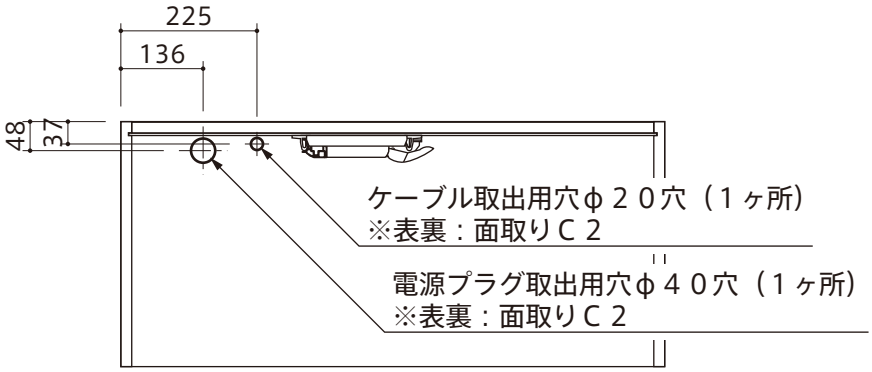
側面図



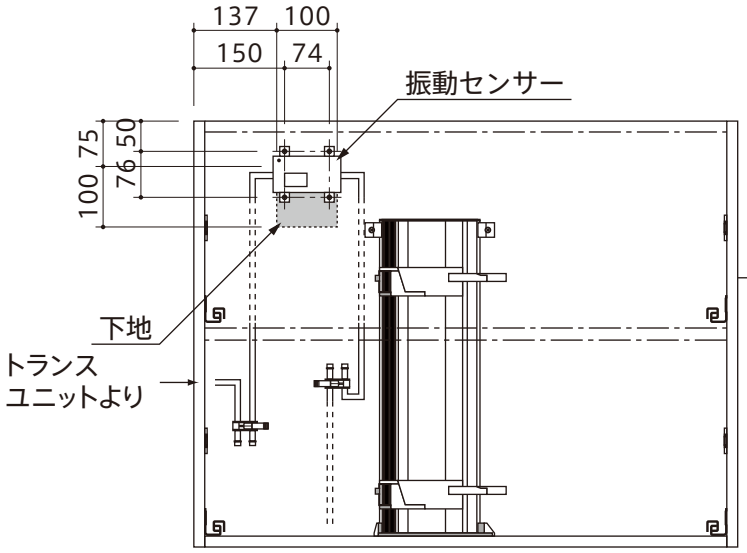
サーボドライブ電気部品取付方法　6（フロアユニット、収納ユニットの場合）

【間口７５０・９００・１２００mm引出しユニット（トール収納）】

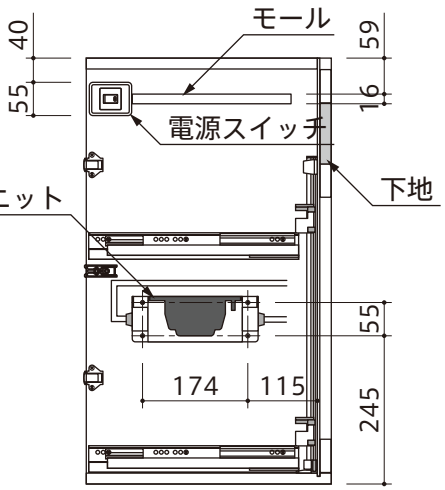
平面図



正面図

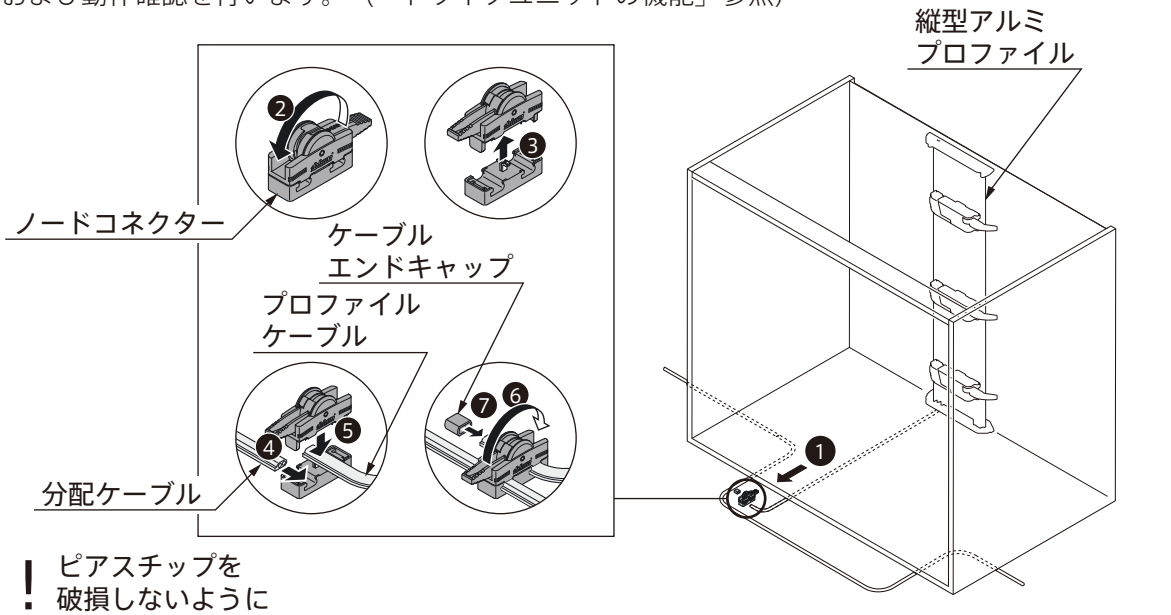


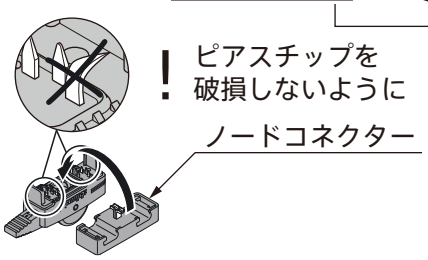
側面図



配線方法　1

1　各ケーブル（プロファイルケーブル、ブラケットケーブル、振動センサーケーブル）をユニット底板のケーブル取出口からユニット外に出します。
　縦型アルミプロファイルのすぐ下からプロファイルケーブルを通す場合は、縦型アルミプロファイルを少し持ち上げてください。（「プロファイルケーブルの通し方」参照）
2　シンクユニットが含まれないオンウォールタイプの場合、サーボドライブ電気部品を取付ける引出し標準ユニットの取付位置の壁面にスペーサー（２４mm）を取付けます。
　スペーサー（２４mm）にφ４．５の穴（各２ヶ所）をあけ、⊕ハイロラッパネジ４．２×４２にて壁面の指定位置に取付けます。
3　ユニットを取付けます。
4　シンクユニットが含まれないオンウォールタイプの場合、サーボドライブ電気部品を取付けるユニットの内側より背板の指定位置にφ４．２～φ４．５の下穴をあけ、引出し標準ユニットの場合は⊕ハイロラッパネジ４．２×４２、薄型引出しユニットおよび引出しユニット（トール収納）の場合は⊕ナゲシネジ４．２×６０にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
5　ユニット底板から出ている各ケーブル（プロファイルケーブル、ブラケットケーブル、振動センサーケーブル）の長さを調整し、カットします。
6　シンクユニットが含まれるオンウォールタイプの場合、シンクユニット底板から出ている振動センサーケーブルを延長します。
　付属のケーブル（６m）の長さを調整し、カットします。
　振動センサーケーブルとカットしたケーブルをノードコネクターにて接続します。
7　分配ケーブルの長さを調整し、カットします。
8　キッチンの端のユニットから分配ケーブルと各ケーブル（プロファイルケーブル、ブラケットケーブル、振動センサーケーブル）をノードコネクターにて接続します。
9　分配ケーブルと各ケーブル（プロファイルケーブル、ブラケットケーブル、振動センサーケーブル）をケーブルホルダーに通して、底板裏面に両面テープで固定します。
※　**ケーブルにたるみが無いように固定してください。**
１０　電源プラグに逆接地アダプター１５Ａ　１２５Ｖ（市販品）を取付け、コンセントに差し込みます。
※　　**その際、必ずアース接続を行ってください。**
１１　取付け完了後、ドライブユニットの機能確認（モードセレクタースイッチ、パワーセレクタースイッチ）および動作確認を行います。（「ドライブユニットの機能」参照）





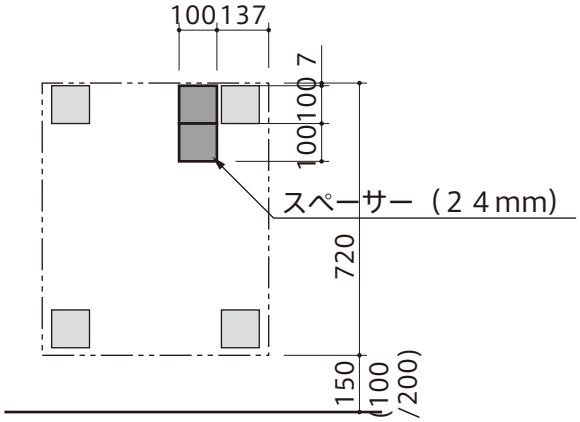
ケーブルをノードコネクターの形状に合わせてしっかりと挟み込みます。
必ずケーブルエンドキャップをしっかりと取付けます。

配線方法　2

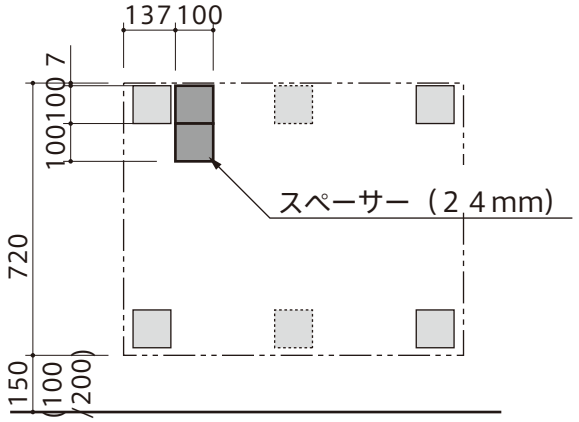
■スペーサー取付位置（正面図）

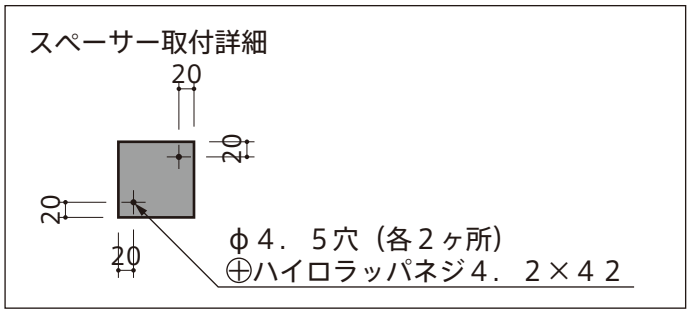
※イラストはＡＦ仕様【Ｈ＝１５０】の場合を示し、（　）内寸法は、ＡＦ仕様【Ｈ＝１００／２００】の場合を示す。

【間口６００mm
引出し標準ユニット】



【間口７５０・９００・１２００mm
引出し標準ユニット】

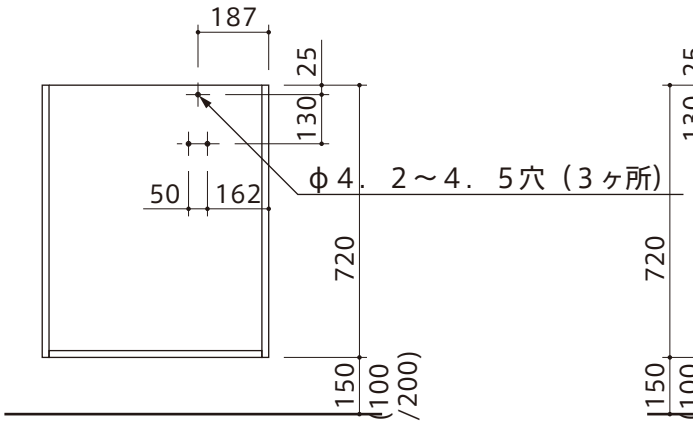




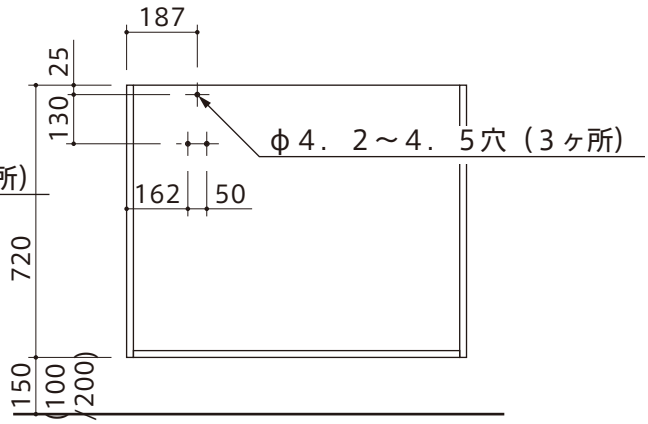
■ユニット固定位置（正面図）

※イラストはＡＦ仕様【Ｈ＝１５０】の場合を示し、（　）内寸法は、ＡＦ仕様【Ｈ＝１００／２００】の場合を示す。

【間口６００mm
引出し標準ユニット、薄型引出しユニット】

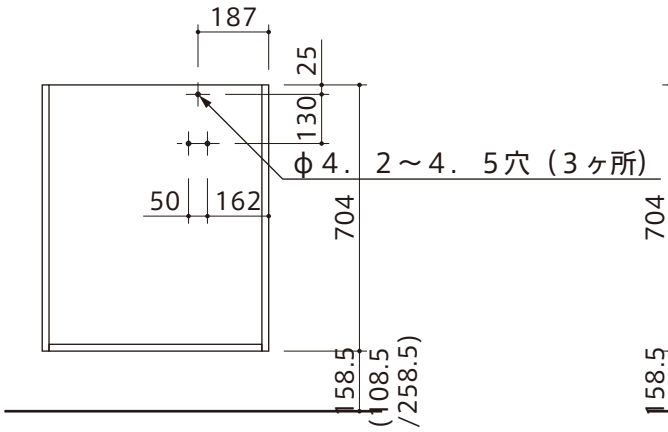


【間口７５０・９００・１２００mm
引出し標準ユニット、薄型引出しユニット】

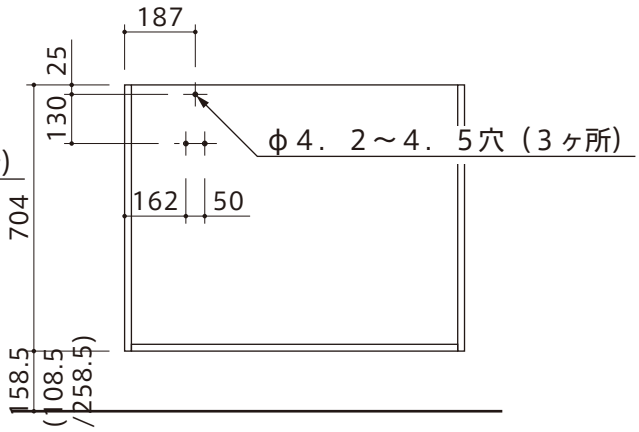


配線方法　3

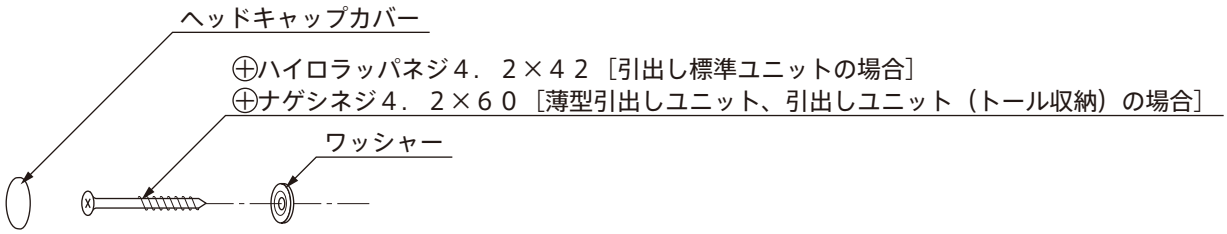
【間口６００mm
引出しユニット（トール収納）】



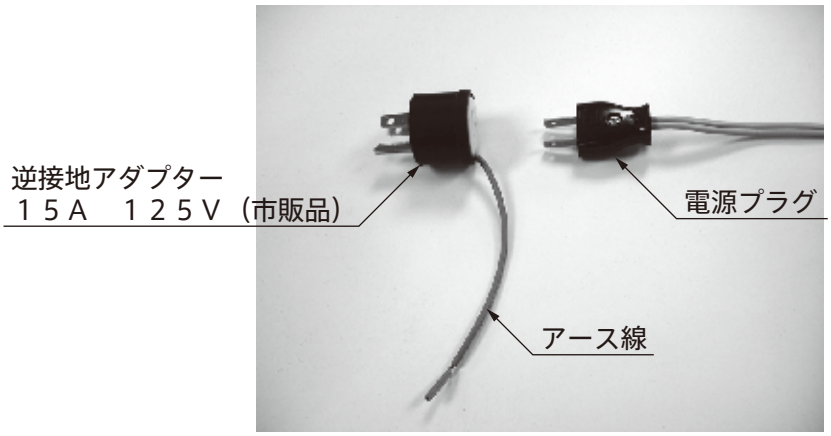
【間口７５０・９００・１２００mm
引出しユニット（トール収納）】



ユニット固定方法詳細



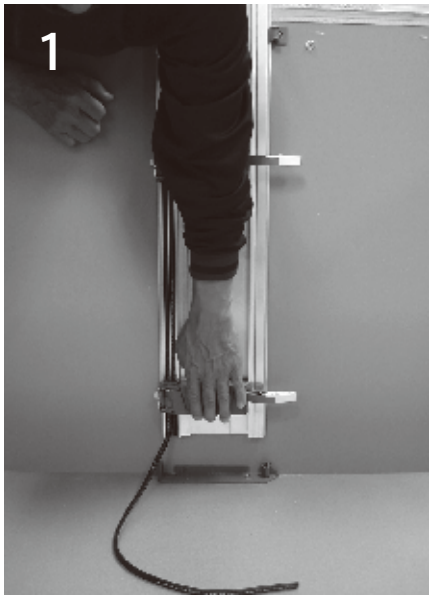
■逆接地アダプターの取付け

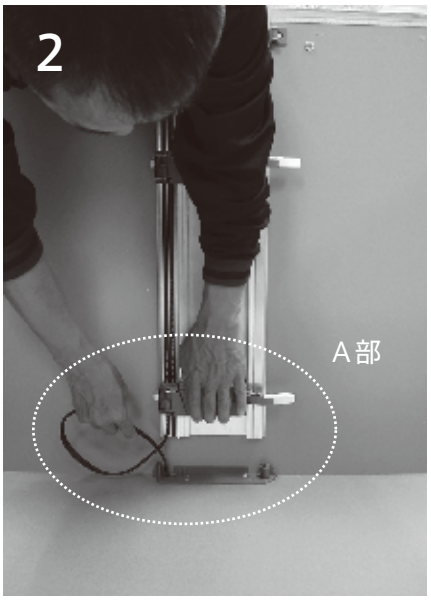


プロファイルケーブルの通し方

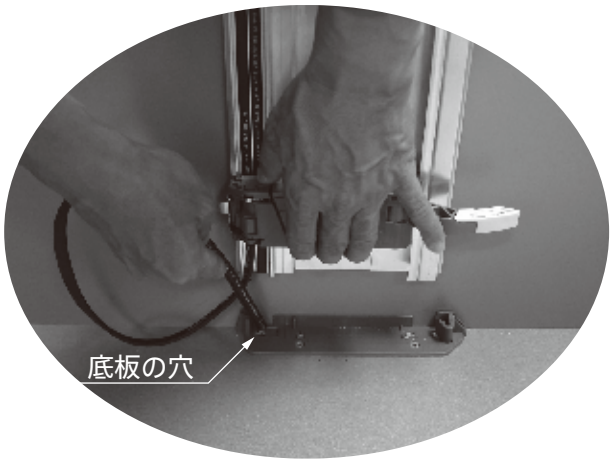
縦型アルミプロファイルのすぐ下からプロファイルケーブルを通す場合は、縦型アルミプロファイルを少し持ち上げます。

1　縦型アルミプロファイルを持ち上げます。
2　プロファイルケーブルをユニット底板の穴に通します。
3　プロファイルケーブルを挟み込まないように縦型アルミプロファイルを下げます。



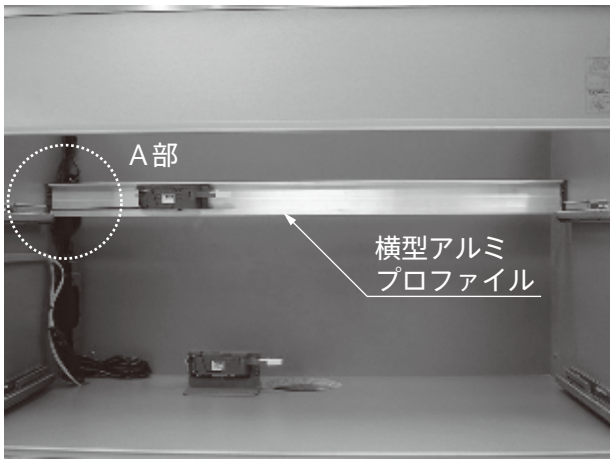


A部拡大



横型アルミプロファイルの取り外し、取付け

シンクユニット正面



A部拡大

■取り外し

シンクユニット内で配管などを行う際に、横型アルミプロファイルを取り外します。

1　横型アルミプロファイルの下側を手前に引き、取付具から外します。

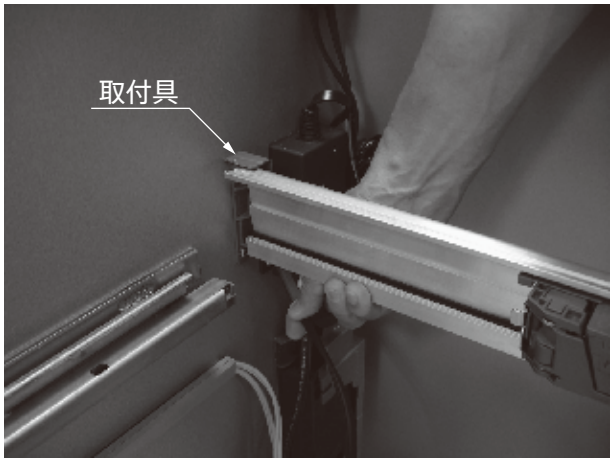
2　横型アルミプロファイルの上側を斜め下へ下げるようにして取付具から外します。

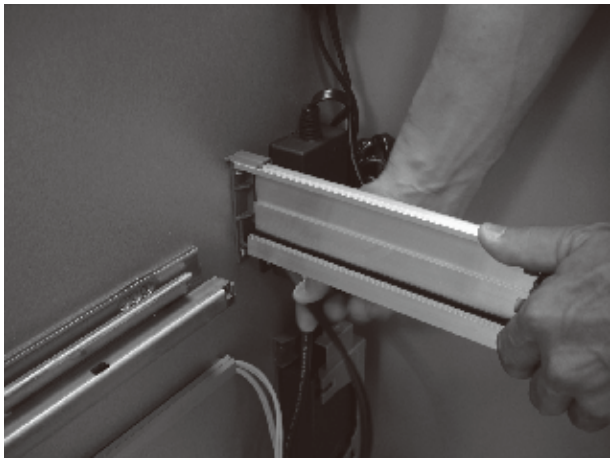
■取付け

配管などが終了後、横型アルミプロファイルを取付けます。

1　横型アルミプロファイルの下側を取付具に差し込みます。

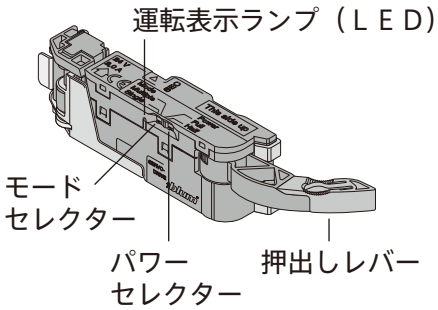
2　横型アルミプロファイルの上側を取付具に取取付けます。





ドライブユニットの機能

モードセレクタースイッチは、Single（シングル）に設定する。
パワーセレクタースイッチは、Full（フル）に設定する。



モードセレクタースイッチ

⇒ Multiple ― 複数のドライブユニットが同時に作動する。
⇒ Single ― 標準設定（※出荷時に設定されています）
１個のドライブユニットのみが作動する。

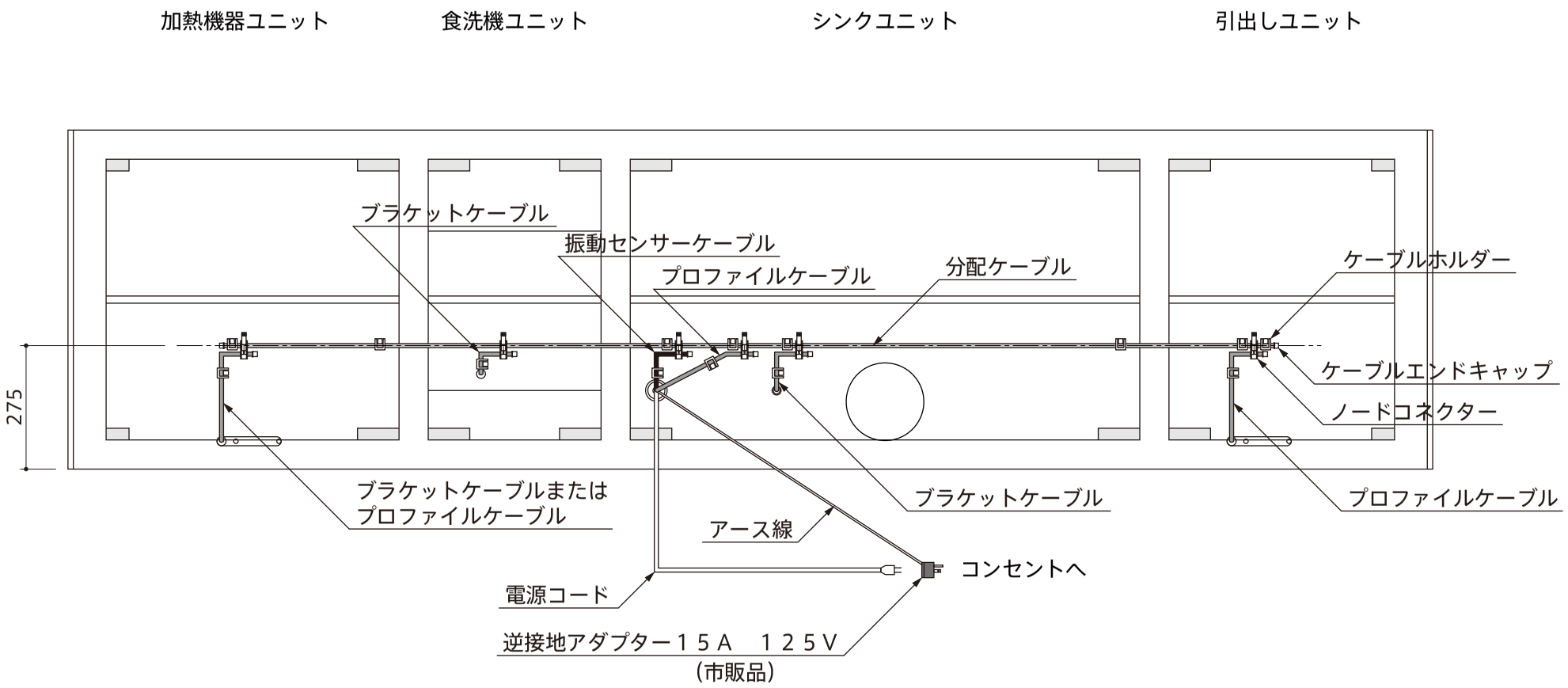
パワーセレクタースイッチ

⇒ Half ― 短いレール使用時
⇒ Full ― 標準設定（※出荷時に設定されています）

配線図　1

底板裏面図

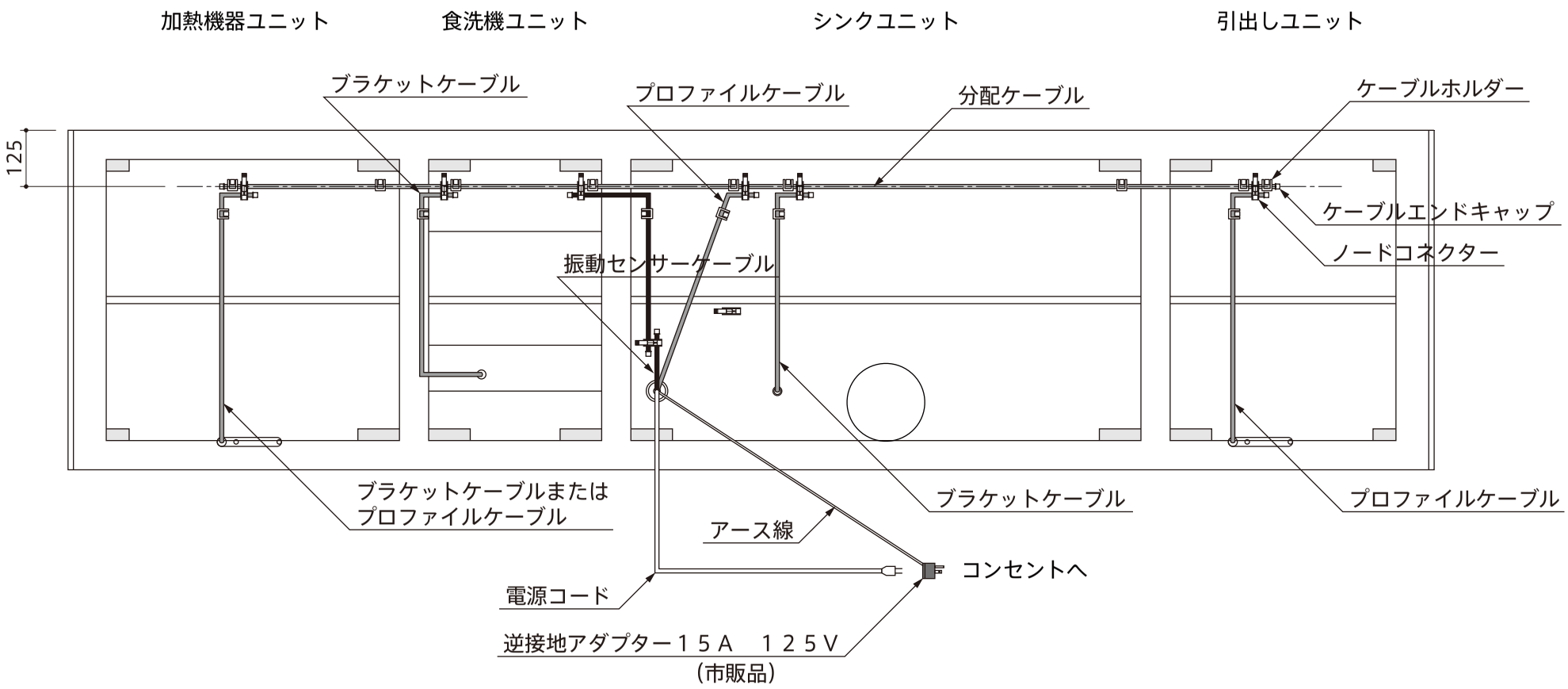
【アイランドタイプ】



配線図　2

底板裏面図

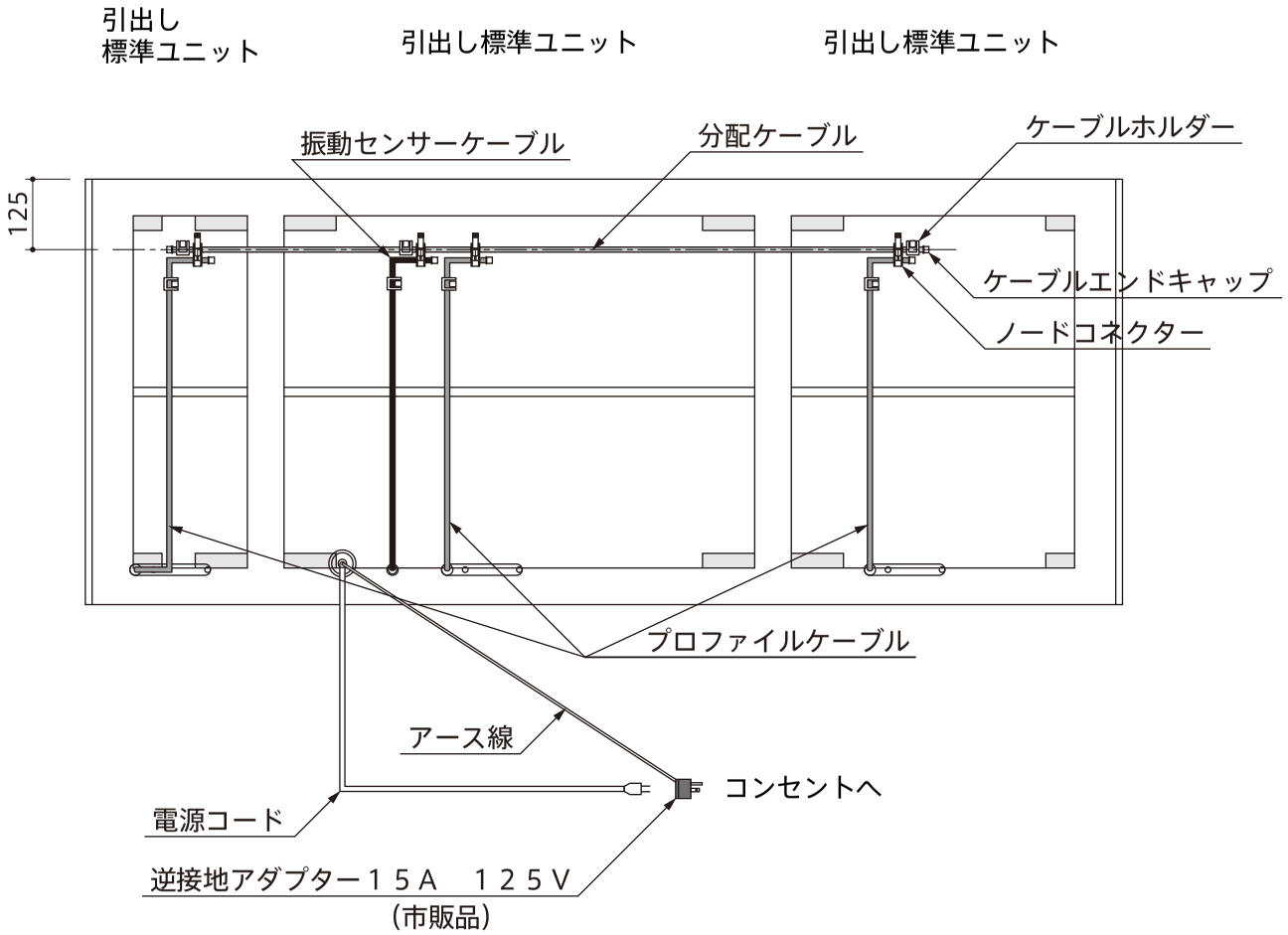
【オンウォールタイプ】



配線図　3

底板裏面図

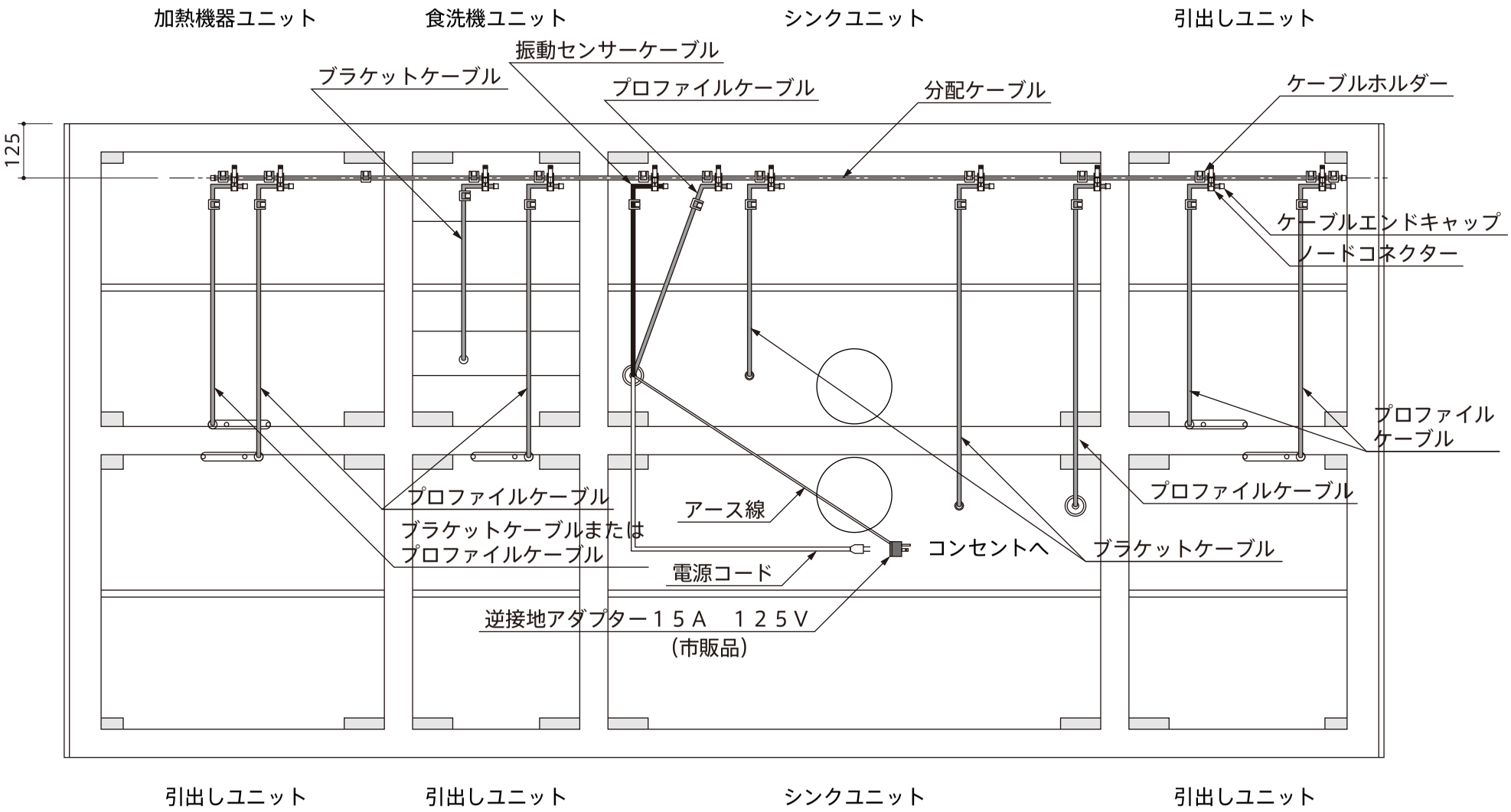
【カウンタータイプ】



配線図　4

底板裏面図

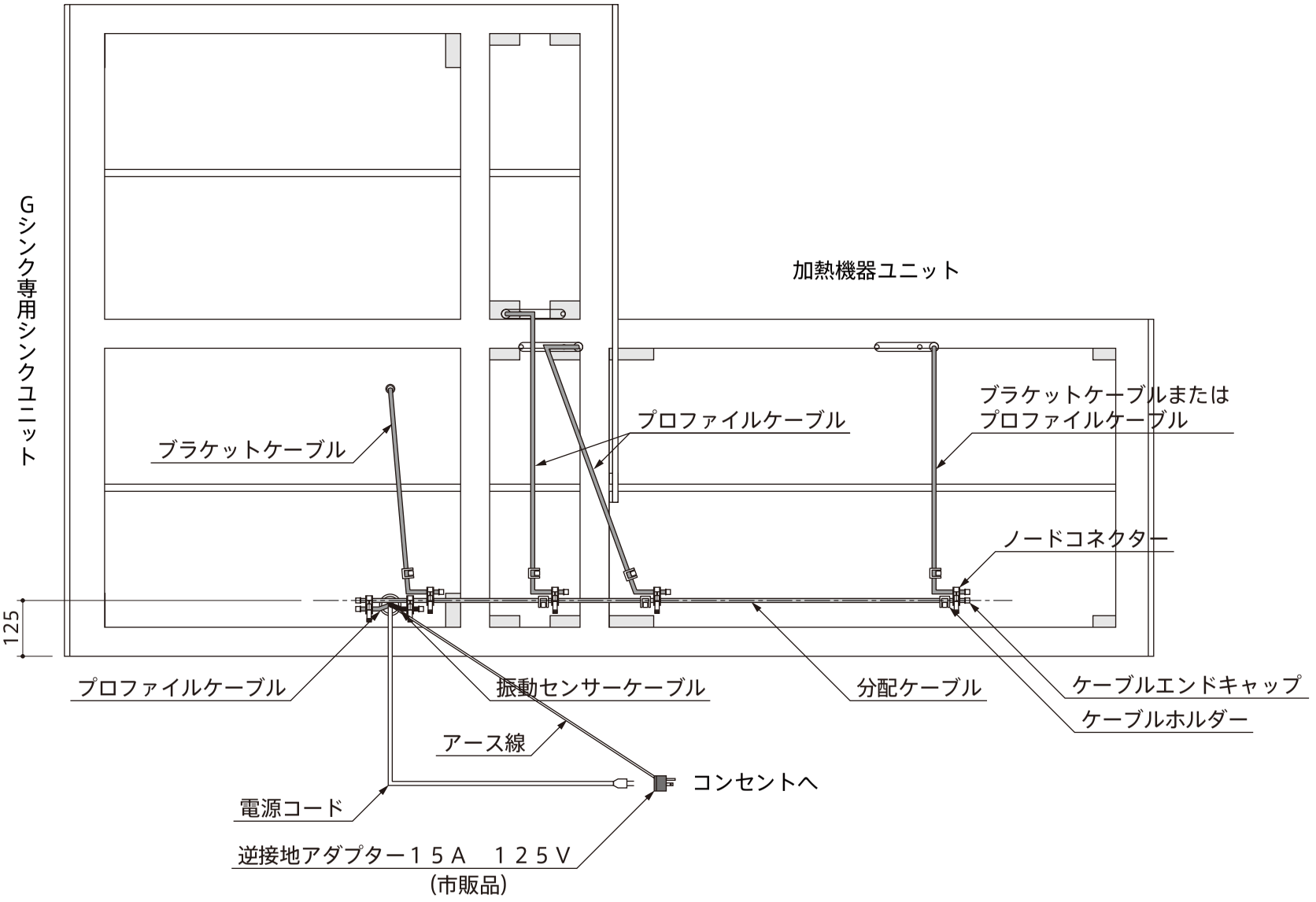
【ＣＤ－ＬＡＮＤ　Ｗ３Ｄシンク】



配線図　5

底板裏面図

【ＣＤ－ＬＡＮＤ　Ｇシンク】　　引出しユニット

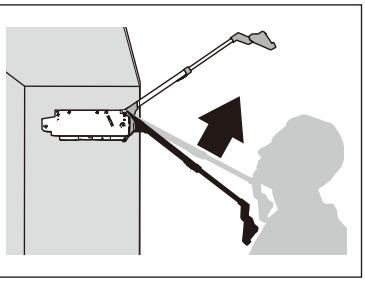


サーボドライブ電気部品取付方法（ウイングチップの場合）

警告！

扉が取付いていない状態では、電源を接続しないでください。

バネの働きによりアームでケガをする恐れがあります。

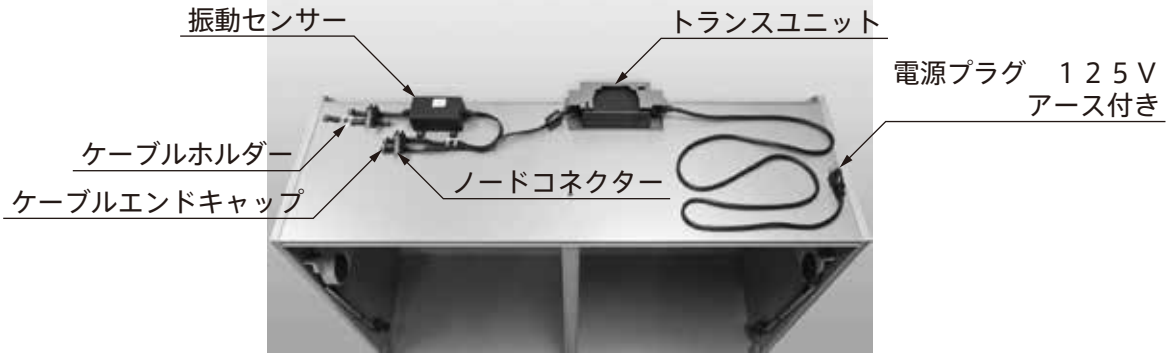


※　ウイングチップをキッチン側のサーボドライブに連結しない場合、ウイングチップにサーボドライブ電気部品を取付けます。

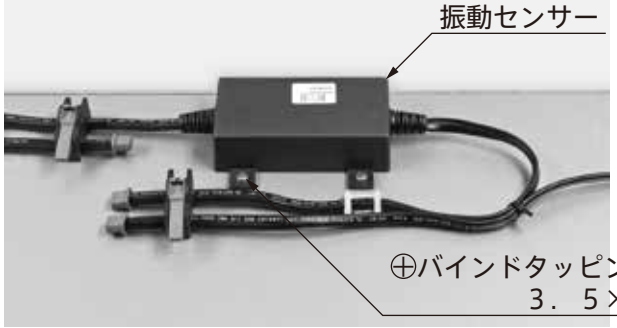
1　ユニット天板に振動センサーを取付けます。
　㊉バインドタッピンネジ３．５×１６（４本）にてユニット天板の指定位置に振動センサーを取付けます。
2　振動センサーケーブルとドライブユニットから出ているケーブルをノードコネクターにて接続します。
3　ユニット天板にトランスユニットを取付けます。
　㊉サラタッピンネジ３．５×１６（４本）にてユニット天板の指定位置にトランスユニットハウジングを取付けます。
　１次側コードをトランスユニットにしっかり差し込みます。
　トランスユニットをトランスユニットハウジングに差し込みます。
4　トランスユニットケーブルと振動センサーケーブルをノードコネクターにて接続します。
5　各ケーブル（トランスユニットケーブル、振動センサーケーブル）と電源コードをケーブルホルダーに通して、天板に両面テープで固定します。

※　ケーブルにたるみが無いように固定してください。

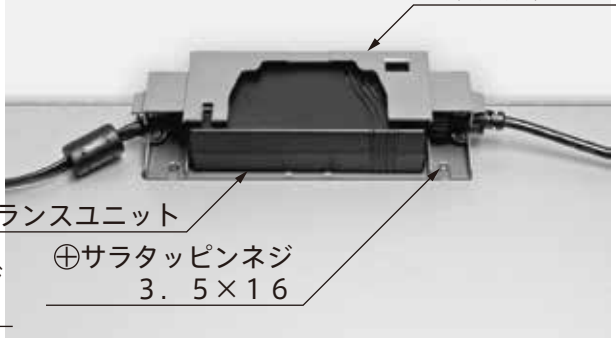
ウイングチップ上部



振動センサーの取付け



トランスユニットの取付け



サーボドライブのスタートアップ　1

A　サーボドライブスイッチの有効化

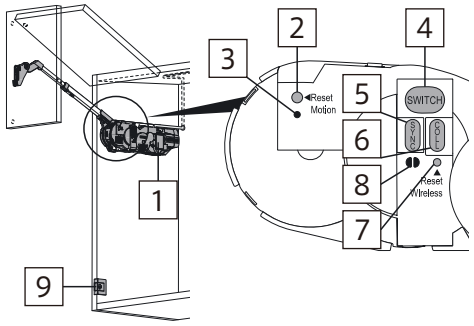
B　自動確認運転の実行

【解除方法】

C　Reset Motion （動作をリセット）

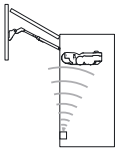
D　Reset Wireless （ワイヤレスをリセット）

■ボタン配置



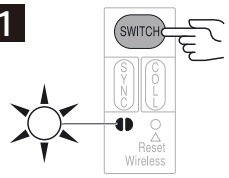
1 ドライブユニット
2 〈Reset Motion〉ボタン
3 ＬＥＤ表示「Motion」
4 〈SWITCH〉ボタン
5 〈SYNC〉ボタン
6 〈COLL〉ボタン
7 〈Reset Wireless〉ボタン
8 ＬＥＤ表示「Wireless」
9 サーボドライブスイッチ

A　サーボドライブスイッチの有効化



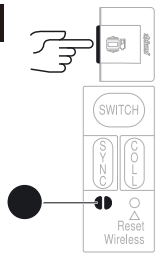
サーボドライブスイッチとドライブユニットとの間のワイヤレス接続の設定を行います。
１つのサーボドライブスイッチは、必ず１つのドライブユニットにワイヤレス接続します。

1



〈SWITCH〉ボタンを押します。
※ＬＥＤ表示「Wireless」が緑色に点滅し始めるまで押します。

2



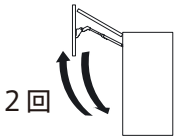
サーボドライブスイッチを押します。
※ＬＥＤ表示「Wireless」が緑色に点灯するまで押します。

3

もう片方のサーボドライブスイッチも手順１～２を繰り返し行います。

サーボドライブのスタートアップ　2

B　自動確認運転の実行

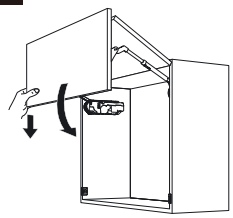


自動確認運転を行うことで、ドライブユニットが必要なパラメーターを認識します。

1

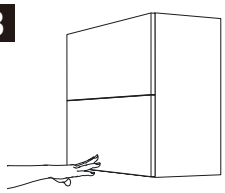
自動確認運転が成功したら、ＬＥＤ表示「Motion」が点滅します。

2



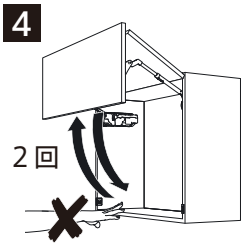
扉を手で閉めます。

3



扉を押すと、 自動的に自動確認運転が始まります。

4

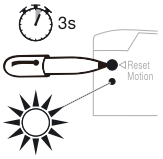


扉が自動的に２回開閉します。
※この動作を中止したり停止したりしないでください。

注意！

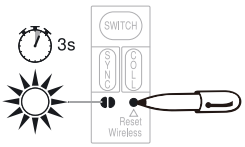
中断した場合は、自動確認運転をリセットしてください。
→「C　Reset Motion」を参照。 自動確認運転を改めてスタートします。

C　Reset Motion （動作をリセット）



自動確認運転がリセットされたら、改めて自動確認運転を行うことができます。
ボールペンなどで〈Reset Motion〉ボタンを押します（３秒以上）。
※ＬＥＤ表示「Motion」が高速点滅し始めるまで押します。
全ての機能をオフにします。
各ドライブユニットの全てのサーボドライブスイッチの起動が取り消されます。

D　Reset Wireless （ワイヤレスをリセット）

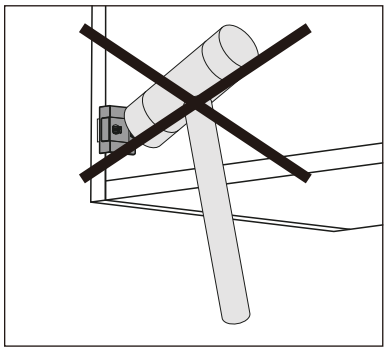


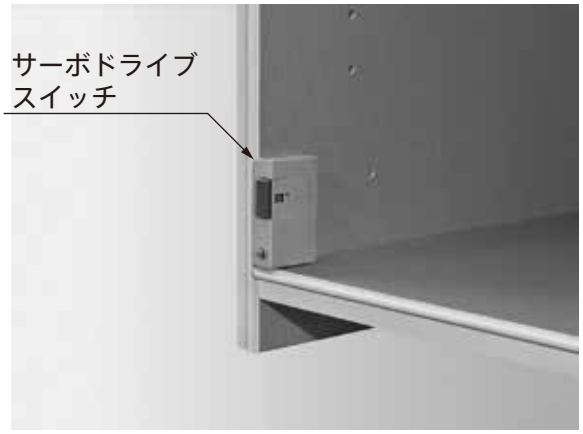
ボールペンなどで〈Reset Wireless〉ボタンを押します（３秒以上）。
※ＬＥＤ表示「Wireless」が高速点滅し始めるまで押します。

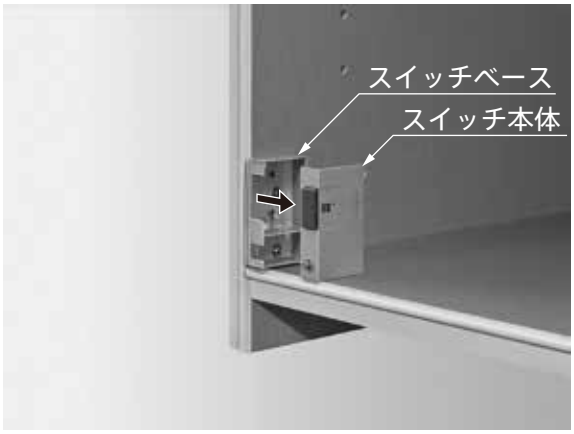
サーボドライブスイッチの電池交換のしかた

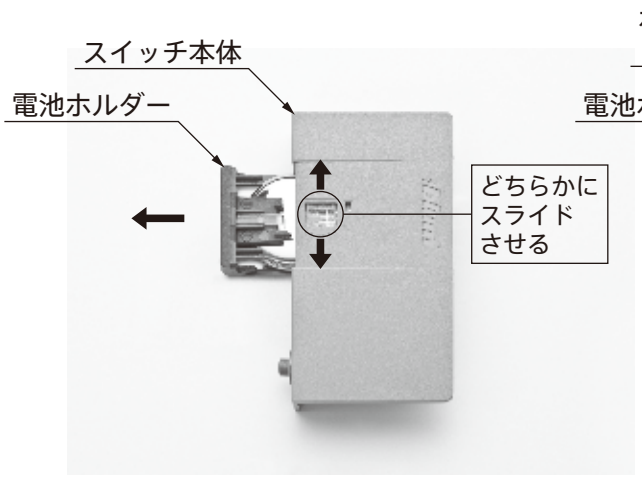
電池の残量が少なくなると、サーボドライブスイッチのＬＥＤが赤色に点滅します。
新しい電池に交換してください。

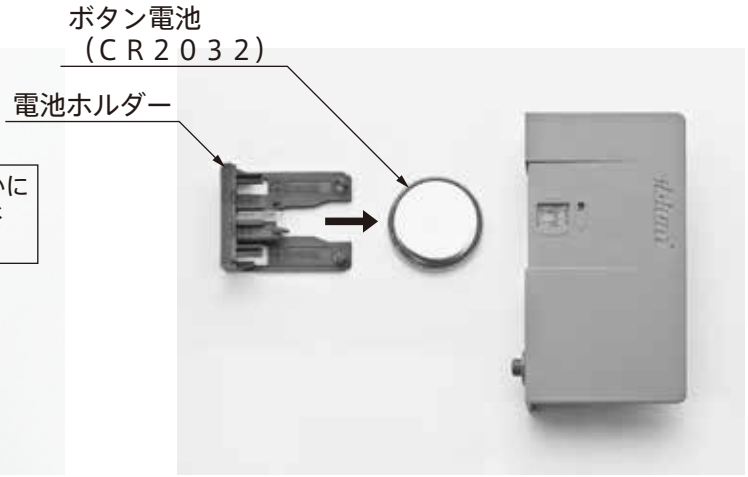
1　スイッチベースからスイッチ本体を取り外します。
2　スイッチ本体の中央あたりをスライドさせて、電池ホルダーを取り外します。
3　古いボタン電池を取り出して、新しいボタン電池（ＣＲ２０３２）を差し込みます。
※　**ボタン電池を差し込む際は、プラスとマイナスにご注意ください。誤って差し込まれた場合は、サーボドライブスイッチのバッテリー表示が赤く点滅します。**
4　再び、電池ホルダーをスイッチ本体に取付け、スイッチ本体をスイッチベースに取付けます。
※　**スイッチ本体はハンマーなどで取付けないでください。**







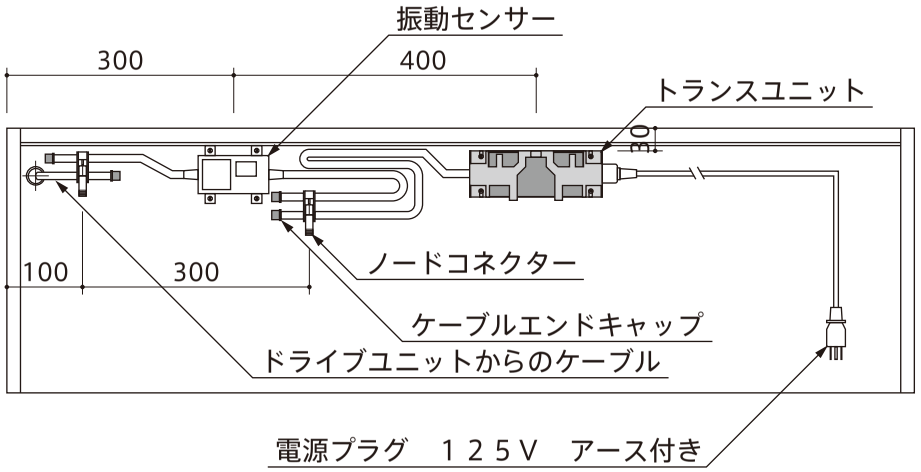




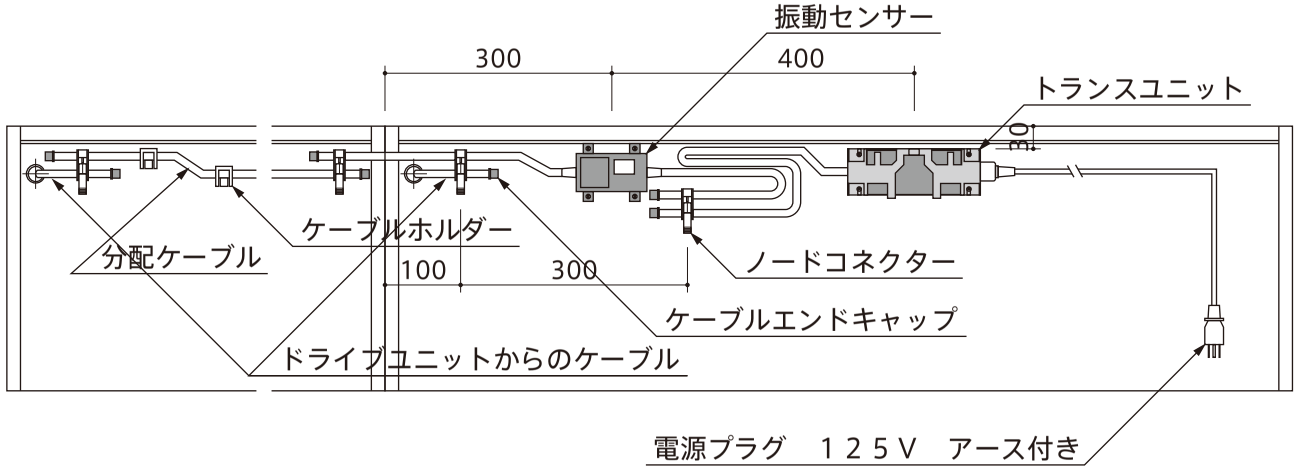
配線図　1

天板平面図

【ウイングチップ　単体】



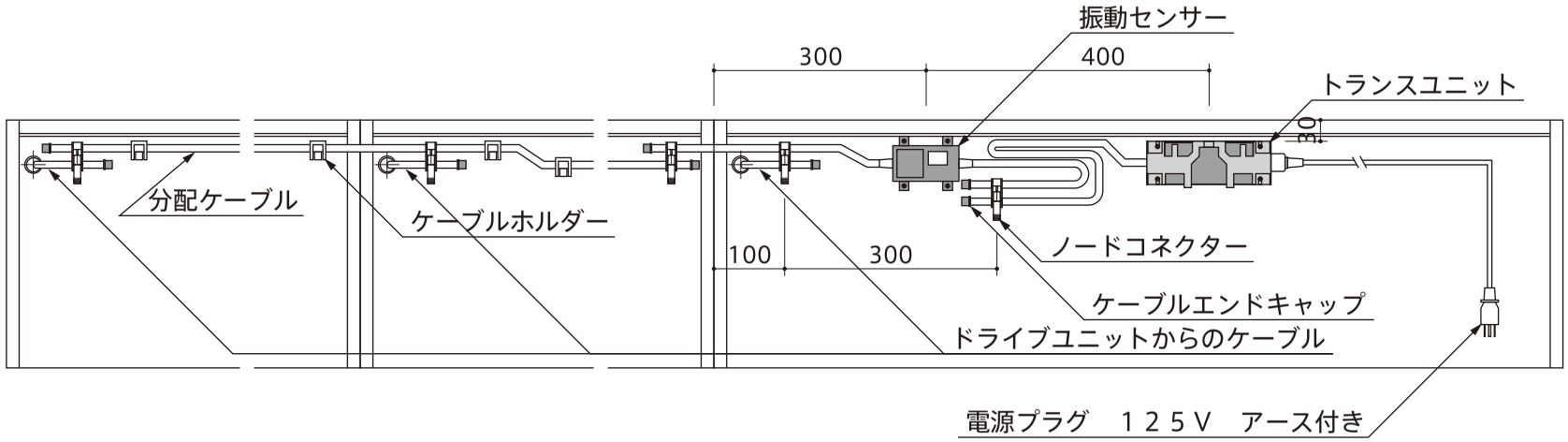
【ウイングチップ　連結（２ユニット）】



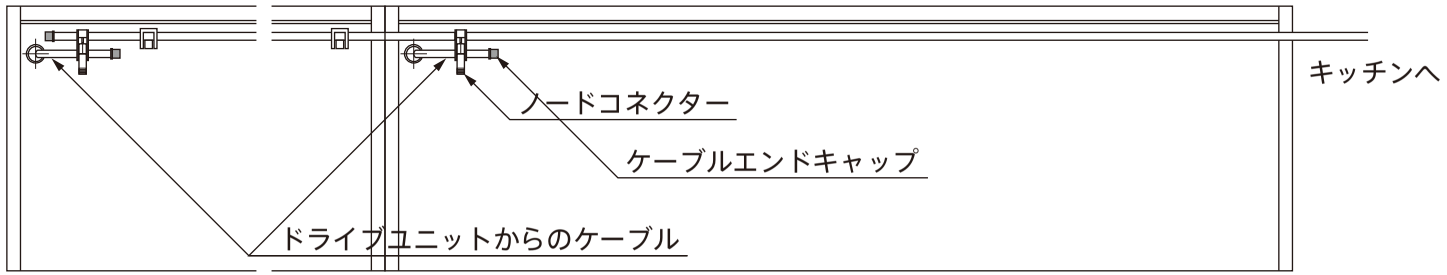
配線図　2

天板平面図

【ウイングチップ　連結（3ユニット）】



【ウイングチップ　連結（キッチン側）】



取付・設置後の点検・試運転・清掃

1．点検

・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。

2．試運転

・引出しの場合、引出しを開けて、電源スイッチを入れます。
　引出し前板を軽く押したり、軽く引いたりして引出しが自動的に開くかどうか確認します。
・扉の場合、扉を軽く押して、扉が自動的に開くかどうか確認します。
　また、サーボドライブスイッチを押して扉が自動的に閉まるかどうか確認します。
・試運転が終了した後、長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

3．清掃

・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷などの損傷が無いかを調べてください。

MEMO

MEMO

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

快適なキッチンのススメ

トーヨーキッチンメンテナンス　www.tk-maintenance.com

TOYO KITCHEN STYLE 商品を気持ちよくご使用いただけるように、
トーヨーキッチンメンテナンスでは修理またはパーツ販売を承ります。

携帯からでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

トーヨーキッチン&リビング株式会社

〒107-0062　東京都港区南青山3-16-3
www.toyokitchen.co.jp

ユーザーサポートセンター
お問い合わせ　info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5771-1040　名古屋 052-709-1040　大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040　金　沢 076-264-1040　岡山 086-243-6111

P9WP-TRS194
13.9